

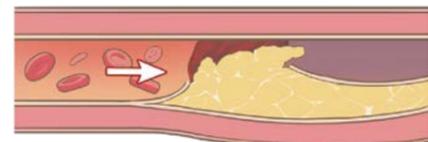
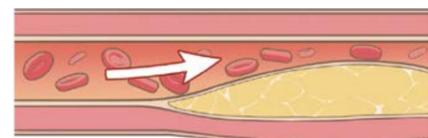
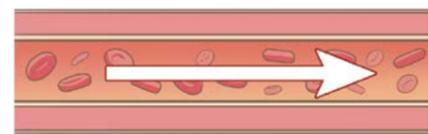


重症化する前に早めに受診を

か し へいそくせいどうみゃくしつかん 下肢閉塞性動脈疾患 (LEAD)ってどんな病気?

か し へいそくせいどうみゃくしつかん
下肢閉塞性動脈疾患は聞き慣れない病名ですが、心筋梗塞や脳卒中など深刻な病気を引き起こしたり、また知らぬ間に進行すると下肢切断など生活の質に影響をおよぼします。そうならないためにも早めの治療や予防が大切です。そこで血管外科の望月康晃先生に詳しいお話しをお聞きしました。

Q. 下肢閉塞性動脈疾患について教えてください。



A. 足へ向かう動脈が狭くなったり詰まったりすることで、十分な血流が流れなくなる病気です。心臓の動脈であれば狭心症や心筋梗塞、脳の動脈であれば脳梗塞と呼ばれる病気が足へ向かう動脈で起きたもので、多くの場合は動脈硬化が原因です。下肢閉塞性動脈硬化症 (ASO) や末梢動脈疾患 (PAD) と呼ばれている病気と同じものです。

Q. どのような症状がありますか?

A. 動脈硬化は気づかない間に進行するため、症状がなく検査で見つかる方が多いです。症状としては、歩いていると足が痛くなり休むと改善する間歇性跛行*や、安静時の踵やつま先の痛み、足のキズが2週間以上治らない、つま先が自然と黒く壊死するなどがあります。症状の一部は腰部脊柱管狭窄症と呼ばれる腰で神経が圧迫される病気と似ています。

※間歇性跛行

少し歩くと、足が痛くなったりしびれたりすることで歩けなくなり、少し休むと、また歩けるようになること



Q. どんな時に何科を受診すればいいですか?

A. 前述の症状がある場合は受診を検討してください。また、健康診断などでABIと呼ばれる足関節と上腕の血圧を測る検査で異常が指摘された場合も受診を検討してください。当院では血管外科で診ていますが、血管外科のない病院では循環器内科や心臓外科、放射線科に相談してください。

Q. どのような治療がありますか?

A. 動脈硬化が原因のため、発見されてから5年のあいだに4人に1人が脳梗塞や心筋梗塞を起こすことが知られています。動脈硬化の進行を抑える必要があります。糖尿病や高血圧、脂質異常症の治療に加えて禁煙が最も重要です。足については、症状がある場合にはバイパス手術や血管内治療を行います。壊死が進行した場合やキズの感染が落ち着かない場合は下肢の切断を検討することとなります。

Q. 予防することはできますか?

A. 動脈硬化の進行を予防することが最も重要です。喫煙されている方は禁煙が重要です。検診や人間ドックを受けていない方は糖尿病や高血圧、脂質異常症に気づいていないだけかもしれないので、受けるようにしてください。

望月先生
から
ひとつ

血管外科 部長
もちづき やすあき
望月 康晃

下肢閉塞性動脈疾患は病名が難しいこともあってか、あまり皆さんに知られていませんが、進行すると下肢切断が必要になることもあり、生活の質に大きく影響する病気です。今回読んでいただいた皆さんには、こういう病気があることを周りの方にもお話しただければ幸いです。